

となりは「病院」、前が「駅」 中には天然温泉「琥珀の湯」

地域社会と交流し、地元の人たちの生活に潤いをもたらすホームがある。蓮田オークプラザ駅前温泉館もそんなホームの一つ。ここでは、ホームでのイベント、レクリエーションに加え、ホームに隣接する足湯温泉が地域の人も好評だ。立地が駅前のため、家族も気軽に立ち寄れるという。



住宅型は二人、介護付きは一人暮らしを前提とした居室だが、ゲストが来て布団やベッドを楽に設置するスペースがある

埼玉県のJR蓮田駅のホームに立つと、すぐ向かいにある足湯が目に入る。この足湯は有料老人ホーム「蓮田オークプラザ駅前温泉館」が管理していて、地域の人に開放して喜ばれている。他にも、落語家を呼んで行う寄席や、ホーム主催の夏祭りなど地域の人が参加出来るイベント・レクリエーションもあるという。こうしたイベントは、ホームにあり外からも見えるディスプレイやチラシで告知されており、誰でも参加できる。また、レストランはプリペイド式のICカードで支払い、一般のお客様も利用できる地域交流の場となっている。

● **本当に住みたいホームを自ら創る**

「『本当に自分が住みたいと

蓮田オークプラザ 駅前温泉館
別館 介護館



蓮田オークプラザ駅前温泉館は、JR蓮田駅のホームのすぐ先。改札口から2分



施設内の温泉は天然温泉（一部源泉掛け流し）。入居者の他家族やゲストも利用できる（左）。足湯は、地域の人とのつながりを大切にしたいという想いから無料で開放している



長がいた。早速、インタビューをする。「温泉を利用しているうちに、神経痛が改善しました」と、王社長は自ら温泉の効能を満足げに話してくれた。

脳外科医として40年のキャリアを持つ王社長は、1975年当時に無医町と言われた蓮田市隣接の伊奈町に外科医院を開設した。地域医療の実践をモットーにトータルケアを行ってきたという。それゆえ医療面のバックアップには格別のこだわりがある。隣接の蓮田一心会病院と連携している他、内科医などの医師の往診も定期的に行われている。急を要する症状の場合には、すぐに王社長が対応してくれるという。「社長がここで生活しているのを入居者の方も知っていて、



一般のお客さんも利用できるレストラン「AJI ICHIBA」

施設の改善要望を私たちスタッフではなく、社長に直接おっしゃる方もいますね」。寺師氏はそう話す。

● **スカイツリー、富士山が見え家族やゲストが泊まれる居室**

蓮田オークプラザ駅前温泉館は全室バルコニー付きで、住宅型と介護付居室が一つの施設内にあるのが特徴だ。自立館（住宅型）はどの居室も約64平米。玄関はシルバーカーが置けるように広く作られ、クローゼットの奥行も深い。一方、支援館（介護付）は約32平米。住宅型も介護付きも居室の床

はフローリングではなくカーペット。滑りにくく歩きやすいようにというこだわりだ。また介護館（別館）は、二対一の介護という基準の1.5倍の介護職員による手厚い介護体制で24時間安心して暮らせるという。自立館↓支援館↓介護館と自立期から要介護期までどんなにも安心して過ごせるシステムだ。その上、看取りまで対応してくれるという。地域と交流があり、自立や介護などの生活レベルに合わせた生活ができるホームといえるだろう。



別館の蓮田オークプラザ「介護館」は、介護付有料老人ホーム。駅前温泉館での生活が難しくなったら、こちらに住み替えることができる。追加料金無し